

聖路加国際病院防災訓練参加報告

日時 2016年10月12日(水) 14:00～16:00

訓練の流れ

当日13:20に聖路加病院本館2F トイスラーホールに集合。担当者より模擬患者の詳細説明を受ける。

30人ほどの模擬患者が集合。各自想定した症状が記されたA4のカードを受け取り内容を確認。

カード表面には年齢・性別・(発病・けが)時の経緯が記載され、裏面には症状・体温・脈拍数・酸素飽和度などが記載されていました。

裏面の情報はトリアージ訓練のために口頭で答え、看護師等病院関係者には見せない。

救急搬入口へ移動後訓練開始とともに患者として参加。

救護センターにて受付。担当看護師に症状を伝え重症・中等症・軽症に仕分けされる。

それぞれ、処置を受け帰宅許可が出た時点で順次解散。

感想

訓練でもかなり慌ただしい雰囲気、医療側は普段は扱わない医療器具に苦戦しておられる様でした。非常時に集められる器具の形はバラバラで、操作方法が違うため混乱しました。

患者側の体験からは、「症状をいかに正確に伝えるか」が大切と感じます。矢継ぎ早に質問され、実際には元気であるにも関わらず答えに窮することがありました。

非常時下では周りの騒音もひどく、かなり混乱すると思います。

「痛み・辛いこと」を、無理をせずにきちんと正直に伝える事は、意外に難しいです。

何より、自分の身をしっかりと守ってケガ等をしないことこそ大切と感じました

記録：築地場外市場商店街振興組合 防災部 秋山